

■コメント

1. 感染性胃腸炎

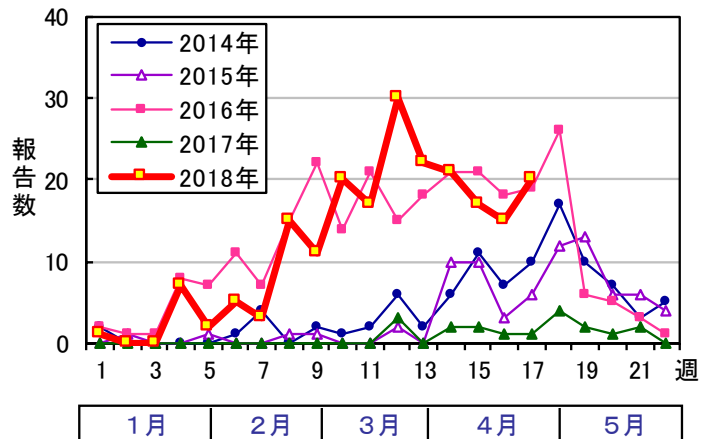
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)は基幹定点から20人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。また、小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり11.8人と、例年同時期と比べて多くなっています。

オムツや吐物の適切な処理、手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

2. 梅毒

2件の報告があり、今年の累計は34件(昨年同時期の約2.1倍)となりました。過去最多となった昨年(62件)を上回るペースで増加しています。感染が疑われる症状が見られた場合には、早めに医療機関を受診し、治療を受けましょう。

基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	28	0.76	1.78	△	小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.62	
	咽頭結膜熱	13	0.54	0.50			RSウイルス感染症	9	0.38	0.18	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	79	3.29	2.60	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
	感染性胃腸炎	282	11.75	8.86	⇒	眼科	流行性角結膜炎	19	2.38	0.80	↑
	水痘	6	0.25	0.63		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	5	0.21	0.88			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.14			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11	
	突発性発しん	11	0.46	0.58			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.14			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	20	2.86		△

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ⇨ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ⇩ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	51	女性(50歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(90歳代)・1人
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	6	男性(80歳代)
5	梅毒	2	34	男性(20歳代)・1人、男性(50歳代)・1人
5	百日咳	1	9	女性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタ ウイル ス) 感染性 胃腸炎
報告 数	広島市	第13週	95	4	48	202	5	2	-	6	4	2	12	-	4	-	-	-	-	22
		第14週	50	7	48	244	5	1	-	9	1	2	8	-	5	-	-	-	-	21
		第15週	44	7	50	219	3	2	-	8	8	2	9	2	11	-	1	-	-	17
		第16週	25	10	74	289	6	8	1	10	4	1	5	1	8	-	-	-	-	15
		第17週	28	13	79	282	6	5	1	11	3	3	9	-	19	-	-	-	-	20
定 点 当 た り	広島市	第13週	2.57	0.17	2.00	8.42	0.21	0.08	-	0.25	0.17	0.08	0.50	-	0.50	-	-	-	-	3.67
		第14週	1.35	0.29	2.00	10.17	0.21	0.04	-	0.38	0.04	0.08	0.33	-	0.63	-	-	-	-	3.00
		第15週	1.19	0.29	2.08	9.13	0.13	0.08	-	0.33	0.33	0.08	0.38	0.25	1.38	-	0.14	-	-	2.43
		第16週	0.68	0.42	3.08	12.04	0.25	0.33	0.04	0.42	0.17	0.04	0.21	0.13	1.00	-	-	-	-	2.14
		第17週	0.76	0.54	3.29	11.75	0.25	0.21	0.04	0.46	0.13	0.13	0.38	-	2.38	-	-	-	-	2.86
	全国	第15週	1.66	0.23	2.19	5.00	0.28	0.23	0.09	0.49	0.03	0.15	0.40	0.03	0.72	0.02	0.03	0.11	-	0.41
		第16週	1.76	0.34	2.66	6.21	0.29	0.25	0.12	0.54	0.03	0.14	0.41	0.04	0.79	0.03	0.03	0.12	0.01	0.52

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	嘔吐下痢 腹痛	1	男	2018/03/18	糞便	Aデノウイルス1型
感染性胃腸炎	嘔吐下痢	2	男	2018/03/25	糞便	A群ロタウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★麻疹(はしか)に注意しましょう!

3月20日以降、沖縄県内で麻疹(はしか)が流行しており、4月30日現在、82例報告されています。

麻疹は麻疹ウイルスによる感染症で、空気感染・飛沫感染・接触感染でヒトからヒトへ感染し、その感染力は非常に強いと言われています。10~12日間の潜伏期間の後、発熱や咳、鼻水などの風邪のような症状が現れ、2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症すると言われています。

麻疹の感染予防には予防接種が最も効果的です。定期予防接種(無料)対象の方は早めに接種しましょう。また、過去に麻疹にかかったことがない方、予防接種を受けていない方は、かかりつけの医師に相談し、予防接種を検討しましょう。

なお、4月29日現在、広島市では麻疹の報告はありません。

最新情報は、沖縄県ホームページ「麻疹(はしか)患者の発生状況について」をご参照ください。

URL <http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/measles.html>

【参考】

・麻疹について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

・麻疹(はしか)に要注意!(健康推進課)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1298598729846/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第17週(4月23日~4月29日)